

平成18年度

第4回

おかやま県民文化祭記録集

平成18年9月～11月



目 次

はじめに	1
第4回おかやま県民文化祭のあらまし	2
主催事業	3
1 総合フェスティバル	3
2 芸術鑑賞	8
岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会	8
3 文化団体支援（分野別フェスティバル）	9
4 文化活動支援・創造	16
①第41回岡山県文学選奨	16
②第57回岡山県美術展覧会	17
③『アートは今・岡山2006』展	18
5 鑑賞モニター	19
協賛事業	19
協賛事業実績一覧	20
《参考資料》	
おかやま県民文化祭実行委員会設置要綱	31
第4回おかやま県民文化祭実行委員会委員名簿	32
第4回おかやま県民文化祭開催要項	33
第4回おかやま県民文化祭実施細則	34
第41回岡山県文学選奨募集要項	35
第4回おかやま県民文化祭鑑賞モニター募集	36
第4回おかやま県民文化祭協賛事業募集要項	37
第4回おかやま県民文化祭事業実績一覧	38
第25回国民文化祭・おかやま2010基本構想案の概要	39

はじめに

おかやま県民文化祭大会会長
岡山県知事 石井正弘



岡山県におきましては、昨年4月、岡山県文化振興基本条例を施行し、県民の文化活動の活性化、地域文化のさらなる振興、そして、新しい岡山文化の創造を図っているところです。

また、この4月からスタートする「新おかやま夢づくりプラン」におきましても、基本戦略の一つとして掲げた「教育と人づくりの岡山」に、「文化プログラム」、「国民文化祭プログラム」を盛り込み、文化を県政発展の大きな柱に据えています。

さらに、平成22年秋には、本県において「第25回国民文化祭・おかやま2010」が開催される予定であり、この国内最大級の文化の祭典の成功に向けて、より一層の気運の醸成に努めてまいりたいと考えております。

こうした中、岡山県とおかやま県民文化祭実行委員会では、県民が文化に親しむとともに日頃の文化活動の成果を発表する場として、「第4回おかやま県民文化祭」を平成18年9月から11月の3か月間開催いたしました。

県民文化祭では、各分野の文化団体の協力のもとに開催した主催事業、協賛事業合わせて214事業を県内21市町村で繰り広げ、約29万人の県民の皆さまに楽しんでいただくことができました。10月20日(金)～22日(日)には、「倉敷から発信 文化で築こう岡山の未来」をテーマに、県民文化祭の中心行事である総合フェスティバルを開催しました。今年は、開催地の倉敷市民に企画段階から参加していただき、一緒に開催準備を進め、大勢の参加を得ることができました。関係の皆さま方のご尽力に厚くお礼申し上げます。

今後、「第25回国民文化祭・おかやま2010」の成功に向け、「おかやま県民文化祭」の一層の充実・発展を図ってまいりますので、皆さまのご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

平成19年3月

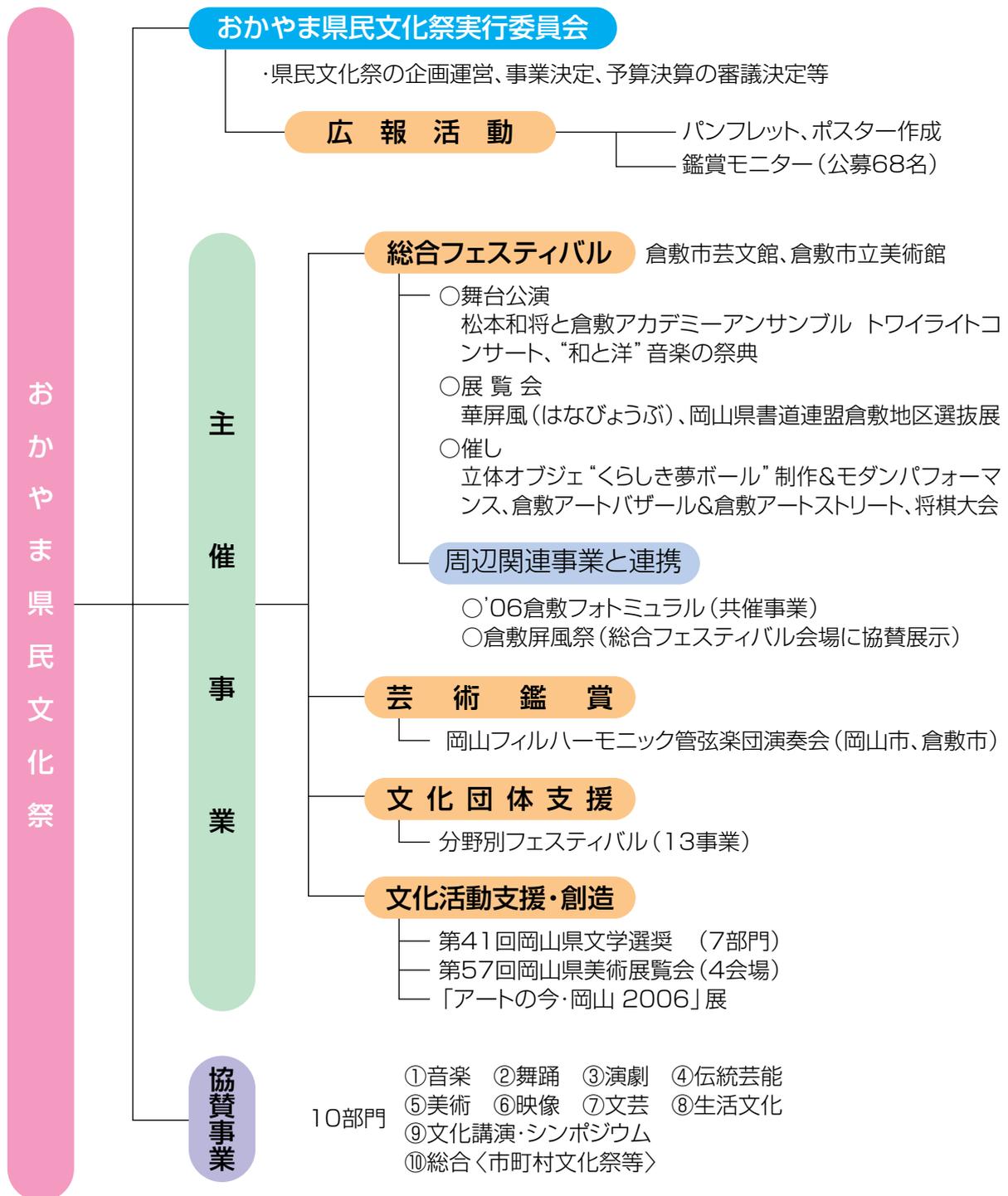
第4回 おかやま県民文化祭のあらまし

趣 旨 県民が文化に親しむとともに、日頃の文化活動の成果を発表する場として、また、平成22年秋の「第25回国民文化祭・おかやま2010」に向けて気運の醸成を図る。

主 催 岡山県、おかやま県民文化祭実行委員会、岡山県文化連盟
開催地市町村、各種団体

期 間 平成18年9月～11月(3か月間)

事業概要



主催事業

1 総合フェスティバル

10月20日(金)から22日(日)まで、倉敷市立美術館、倉敷市芸文館とその周辺で、「倉敷から発信 文化で築こう岡山の未来」をテーマに、総合フェスティバルを開催しました。今年は、開催地である倉敷の市民が企画段階から参加し、協働で準備から実施まで行いました。

立体オブジェ“くらしき夢ボール”の制作や、屋外でのダンスパフォーマンス、ジャンルを超えた音楽団体によるステージ“和と洋”音楽の祭典、ピアニスト松本和将氏と倉敷アカデミーアンサンブルによるクラシックコンサート、備中地域に伝わる屏風と華道作品を展示した華屏風(はなびょうぶ)や書道展、また、アーティストたちのオリジナル作品の展示販売や地元作家たちの作品で彩る「倉敷アートバザール&倉敷アートストリート」など多彩な内容となりました。

●来場者：10,867名

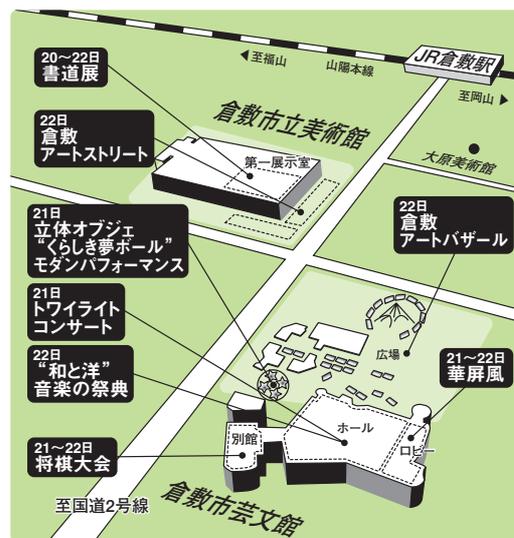
●内容・日時・場所

岡山県書道連盟 倉敷地区選抜展

平成18年10月20日(金)～22日(日) 9:00～17:00 (最終日は16:00まで)

倉敷市立美術館・第1展示室

倉敷地区を中心とする岡山県書道連盟役員による作品72点を展示するとともに、席上揮毫を行いました。また、中国鎮江市から書道家が訪れ、地元の書道家との交歓揮毫会も行われました。



〈展覧会場〉



〈席上揮毫〉

将棋大会

平成18年10月21日(土) 10:00～15:30 こども大会の部
22日(日) 9:00～15:30 ふれあい大会の部
倉敷市芸文館・202、203会議室

日本将棋連盟岡山県支部連合会により、21日は小学生以下、22日は大人も交え世代を超えた将棋愛好者による将棋大会を開催しました。



〈ふれあい大会の部〉

華屏風（はなびょうぶ）

〔岡山県華道連盟 華道展、倉敷屏風祭協賛展示 屏風展〕

平成18年10月21日（土） 13:00～19:00

22日（日） 10:00～17:00

倉敷市芸文館・ロビー

岡山県華道連盟の19流派による作品と頼山陽、棟方志功、児島虎次郎、小野竹喬の屏風を展示しました。また、会場では全日本着装アカデミー協会きもの塾審査委員会の方が屏風の側で案内し華を添えました。



〈会場風景〉

立体オブジェ“くらしき夢ボール”制作&モダンパフォーマンス

平成18年10月21日（土） 9:00～13:00 “くらしき夢ボール”制作

18:30～19:00 モダンパフォーマンス

倉敷市芸文館広場 噴水池周辺

倉敷芸術科学大学のカスパー・シュワーベ教授の指導により、地元ボーイスカウトや地域の住民、岡山県学生ボランティアネットワーク「キラリ☆ネット」が参加して巨大な立体オブジェ“くらしき夢ボール”を制作し、展示しました。

また、ライトアップした“くらしき夢ボール”を背景に、岡山県現代舞踊連盟によるモダンパフォーマンスが披露されました。



〈立体オブジェ“くらしき夢ボール”の制作と展示〉



〈モダンパフォーマンス〉

松本和将と倉敷アカデミーアンサンブル トワイライトコンサート

平成18年10月21日(土) 16:30～18:30

倉敷市芸文館・ホール

倉敷市出身でヨーロッパを舞台に活躍するピアニスト松本和将氏と地元倉敷の管弦楽団倉敷アカデミーアンサンブルによるクラシックコンサートを、ゲストコンサートマスターに守屋剛志氏を迎え開催しました。

モーツァルトの「ピアノと管弦楽のためのロンド」、「ピアノ協奏曲第23番」、ショパンの「ピアノ協奏曲第2番」を演奏し、松本氏はピアノを弾きながら指揮もする「弾き振り」に初挑戦しました。



〈松本和将氏と倉敷アカデミーアンサンブル〉

倉敷アートバザール&倉敷アートストリート

平成18年10月22日(日) 10:00～17:00

倉敷市芸文館前広場(アートバザール)、倉敷市立美術館周辺(アートストリート)

芸文館前広場と市立美術館周辺をアーティストたちのオリジナル作品で彩りました。一度に多数の作家や作品と出会うことができる、人とアートの交流の場が作られました。



〈アートバザール〉



〈アートストリート〉

“和と洋” 音楽の祭典

平成18年10月22日(土) 13:30～16:05

倉敷市芸文館・ホール

和太鼓、邦楽、合唱、オーケストラなどいろいろなジャンルの音楽が楽しめる演奏会を開催しました。

- 和太鼓【海鳴り】 水島灘源平太鼓保存会
- 開会セレモニー
- 邦楽【月に寄せる日本のうた】 倉敷琴友会
- 合唱【さくらさくら・みんなのところに ほか】 プチ・パニエ (Petit Panier)
【日本の叙情曲集より】 瀬戸内混声合唱団
- ももっち体操 岡山県学生ボランティアネットワーク キラリ☆ネット
- 国民文化祭PR 2007年国民文化祭(徳島県)マスコットキャラクター「すだちくん」
ほか
- オーケストラ【ブラームス/ハイドンの主題による変奏曲】 倉敷管弦楽団



〈水島灘源平太鼓保存会〉



〈倉敷琴友会〉



〈プチ・パニエ (Petit Panier)〉



〈瀬戸内混声合唱団〉



〈倉敷管弦楽団〉



〈キラリ☆ネット〉

【共催事業】

'06倉敷フォトミュラル

平成18年10月21日(土)～11月12日(日) 倉敷チボリ公園
10月24日(火)～11月 5日(日) 倉敷駅前アーケード

「華」をテーマに公募した写真の大型布プリントの展示を、総合フェスティバルの共催事業として開催しました。



〈オープニング〉



〈倉敷チボリ公園〉



〈倉敷チボリ公園 室内展示〉



〈ワークショップ〉



〈倉敷駅前アーケード〉



〈キャノン・フォトコレクション展〉

2 芸術鑑賞

岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会

①第30回定期演奏会

指揮に広上淳一、ソリストに松田奈緒美、菅英三子、宮西央子、西明美、山本福久、松本薫平、萩原潤、稲垣俊也ら8名を迎え、一般公募による混声合唱団「岡山シンフォニーホール祝祭合唱団」300名に120名のオーケストラで、マーラーの交響曲第8番変ホ長調「千人の交響曲」全曲を演奏しました。テーマの「ムジカ・ムンダーナ～宇宙が鳴り響き始める～」にふさわしい演奏会となりました。

- 日 時：平成18年10月1日(日) 15:00～17:00
- 場 所：岡山シンフォニーホール
- 入場者：1,670名



②岡山フィルハーモニック管弦楽団倉敷公演

指揮に山上純司を迎え、「小・中学生のためのオーケストラ入門」として、ロッシーニの歌劇「セビリアの理髪師」序曲やサラサーテの「ツィゴイネルワイゼン」などの名曲や親しみやすい曲の演奏に、テノール独唱、楽器紹介や歌唱指導等も加えて、楽しく有意義な演奏会を実施しました。

- 日 時：平成18年11月10日(金) 18:30～20:30
- 場 所：倉敷市芸文館
- 入場者：505名



3 文化団体支援（分野別フェスティバル）

意欲的な公演発表を促進する目的で、全県の広がり活動している分野別文化団体それぞれが行う公演、発表などを主催事業に位置付け実施しました。

①岡山県少年少女合唱連盟演奏会総社大会

- 団体名：岡山県少年少女合唱連盟
- 日 時：平成18年9月3日(日) 13:00～16:00
- 場 所：総社市民会館（総社総合文化センター）
- 入場者：1,038名

【開催概要、成果と反省】

連盟加盟の合唱団のうち、14団体が参加し、美しいハーモニーを披露しました。参加団体が例年より多かったことは嬉しいことです。また、少人数の合唱団も参加し、熱心な演奏発表をしました。少子化や青少年活動の多様化などにより団員の確保に向けての募集の工夫や、演奏レベルの一層の向上を図っていく努力も必要であると思います。



〈各団新入団員による合同演奏〉

②第2回岡山県バレエフェスティバル

- 団体名：岡山県バレエ連盟
- 日 時：平成18年9月3日(日) 14:00～16:00
- 場 所：岡山市市民会館
- 入場者：1,659名

【開催概要、成果と反省】

第2回を迎えた本年は、バレエ連盟内の合同作品創作を目指しました。第1部では、「夕麗（せきれい）」と「カルミナ・ブラーナ」の2種の創作作品を上演。「夕麗」は国民文化祭やまぐち2006への参加作品でもあります。また、第2部では、連盟合同作品として、古典バレエ作品を今回の公演のためにオリジナルな作品に演出・振り付けした「リゼットの恋」を発表し、会場内に拍手が湧くほど大好評を得ることができました。



〈連盟合同作品「リゼットの恋」〉

③日本舞踊チャリティ公演

- 団体名：社団法人日本舞踊協会岡山県支部
- 日 時：平成18年9月9日(土) 11:30～17:00
- 場 所：岡山市立市民文化ホール
- 入場者：747名

【開催概要、成果と反省】

古典日本舞踊の公演17番。出演者19名。会員同士、芸を競い合い、親睦を深めた楽屋のスタッフ・出演者の和が観客の皆さんにも伝わったのか、なごやかな会になったと自賛しています。第4回目にしてやっと踊りの会らしくなったと思います。若い人達の成長を促し、それを楽しみに続けていきたいと考えています。



〈「清元 お祭り」若柳吉祥苑、若柳吉晴苑〉

④第19回岡山県マーチングコンテスト・第25回岡山県小学校バンドフェスティバル

- 団体名：岡山県吹奏楽連盟
- 日 時：平成18年9月18日(月・祝) 13:00～17:00
- 場 所：津山総合体育館
- 入場者：2,000人

【開催概要、成果と反省】

岡山県内の加盟吹奏楽団体(延べ1,000人)が、全国大会を目指して、あるいは日頃の練習成果を発表すべく、一堂に会して開催され、特に優秀な団体は、岡山県代表として中国大会へ出場しました。岡山県大会は19回を迎えて、吹奏楽行事として2千人を超える入場者がありました。教育活動の一環として、大切な位置付けにあるとともに、生涯学習への効果も十分期待できる大会であると考えます。今後とも、関係各位のご支援のもと、吹奏楽の発展普及に邁進し、教育文化県岡山を名実ともに実証する大会を目指します。



〈明誠学院高等学校〉

⑤第45回中国合唱コンクール

- 団体名：岡山県合唱連盟
- 日 時：平成18年9月23日(土・祝) 10:30～17:30
平成18年9月24日(日) 10:00～18:30
- 場 所：岡山シンフォニーホール
- 入場者：3,415名

【開催概要、成果と反省】

2日間にわたって、中国地方各県からの代表59団体2,397名が日頃の練習の成果を競い合い、残念ながら岡山県代表団体を全国大会へ推薦することはできませんでしたが、島根県ほか10団体を上位大会である全日本合唱コンクール全国大会へ推薦することができました。岡山県での開催は5年ぶりでしたが、県特産品の黒大豆を使用した黒々茶を参加者に提供したところ、大好評を博し、岡山らしさを堪能いただけたと思います。また、大会の成績結果は、発表と同時にホームページ上に掲載し、インターネットを活用した情報の提供は参加者に極めて有用であったと思います。



〈合唱団 こぶ〉

⑥第5回マーチングバンド・バトントワーリング岡山県大会

- 団体名：日本マーチングバンド・バトントワーリング協会岡山県連盟
- 日 時：平成18年9月23日(土・祝) 13:30～15:00
- 場 所：きびジアリーナ(総社市)
- 入場者：600名

【開催概要、成果と反省】

5回目を迎えた今大会は、マーチングバンドの学校が増加しました。中国大会・全国大会への最初のコンテストとしての位置付けが確立してきました。バトントワーリング部門においては、就実中学・高等学校のみのコンテストですが、フェスティバル部門としての参加はバトン文化へ貢献しています。コンテストとフェスティバルの両面を充実し、大会の魅力を上向きさせていきたい。



〈岡山県合同バトン〉

⑦第2回岡山県俳句大会

- 団体名：岡山県俳人会
- 日時：平成18年10月9日(月・祝) 10:30～16:00
- 場所：岡山国際交流センター
- 入場者：208名

【開催概要、成果と反省】

応募句及び当日句について、25人の選者による選評と俳論の発表を行い、優秀な作品を表彰しました。

岡山県で最初の全県単位の俳句組織を発足させて2年目を迎え、県内における俳句文芸の振興と懇親の場づくりを実現し、その意識化を一層深めることができました。今後は、大会運営の円滑化と参加者の目的意識に対応できる、よりよいプログラムづくりの工夫が課題です。



⑧第51回岡山県吟剣詩舞道大会

- 団体名：財団公認岡山県吟剣詩舞道総連盟
- 日時：平成18年10月22日(日) 9:30～16:00
- 場所：倉敷市児島文化センター
- 入場者：830名

【開催概要、成果と反省】

伝統芸能の一つである吟詠剣詩舞道の同好者が集い、第51回大会を開催しました。各流派より選抜された10名1組としての合吟コンクール、全国コンクール等での優勝者の発表、岡山県内3地区（東部・西部・北部）による吟詠剣詩舞の企画構成番組の披露などを行いました。

入念な事前準備により当日は予定どおりの進行ができましたが、来年は多くの参加者を望むとともに、さらに多くの方々に見に来ていただけるよう努力したいと思います。



〈合吟コンクール：花朝澱江を下る〉

⑨第87回岡山県短歌大会

- 団体名：岡山県歌人会
- 日 時：平成18年10月29日(日) 9:30～16:00
- 場 所：久米南町文化センター
- 入場者：125名

【開催概要、成果と反省】

児童生徒短歌コンクール表彰式に続いて、歌人岡井隆氏による短歌講演会を開催しました。

また、当日出席者の250首の批評指導、入賞作品の朗詠スライド(8首)、優秀作品の表彰(42首)などを行い、短歌同好者の親睦、交流を図りました。



〈講演「うたのいろいろ」岡井 隆氏〉

⑩岡山三曲協会定期演奏会

- 団体名：岡山三曲協会
- 日 時：平成18年10月29日(日) 12:00～16:00
- 場 所：岡山市民会館
- 入場者：670名

【開催概要、成果と反省】

第一部は会員13社中252名による尺八、箏、三絃の合奏。第二部は、大阪府文化奨励賞、京都市文化芸術協会賞等受賞の尺八演奏家三好荒山、箏曲演奏家の香田律子両師の名演奏を拝聴しました。この演奏会を通じて、会員相互の三曲演奏の研さんを積み、会員の拡大を図り、ひいては地域社会の文化向上に寄与したいものです。



〈宮城会岡山地区〉

⑪ Dance Performance 2006

- 団体名：岡山県現代舞踊連盟
- 日 時：平成18年11月12日(日) 15:00～17:00
- 場 所：岡山市立市民文化ホール
- 入場者：600名

【開催概要、成果と反省】

11作品のダンス上演。各会員の作品は、テーマに添った動きの追求、衣装、装置、曲などに工夫が見られ、それぞれに独自の作品世界を創り上げていました。一昨年好評いただいたケイコ・デイビス氏のワークショップからの作品は、さらにダイナミックな見応えのある作品に仕上がりに、観客の皆さまにも楽しんで見ていただけたと思います。

今回は、東京から勝部ちこ氏、鹿島聖子氏という国際的に活躍されているダンサーをお招きし、最先端のコンテンポラリーダンスを岡山の皆さまにもご覧いただけました。この公演を一つのステップとして、今後も国民文化祭に向け会員一同研さんを積んでいきたいと思ひます。



〈特別企画作品「Gift from Africa」〉

⑫ 近県交流 現代詩講演会 No.2

- 団体名：岡山県詩人協会
- 日 時：平成18年11月18日(土) 13:30～16:30
- 場 所：ピュアリティまきび
- 入場者：73名

【開催概要、成果と反省】

青木はるみ氏（奈良市）と松尾静明氏（広島市）を招いた講演会。ここ数年、俳句・短歌など他のジャンルと、No.1・No.2と近県の詩人たちと、垂直に水平に交流を重ねて、県民に現代詩の「在り処」を示し、理解を深めました。手前味噌ながら、芦屋市の「富田碎花賞」受賞者は、ここ4年連続して岡山の詩人です。いよいよ来年度から、国民文化祭を期して、県民の皆さんに詩作を呼びかけ、岡山文化の深耕に向かっていきます。



〈講演「小野十三郎の詩の虚と実」青木はるみ氏〉

⑬第13回たいこ・タイコ・太鼓コンサート

- 団体名：岡山県和太鼓連盟
- 日時：平成18年11月26日(日) 13:30～16:30
- 場所：備前市市民センター
- 入場者：800名

【開催概要、成果と反省】

県和太鼓連盟に加盟する10団体が、個性的で勇壮かつ華やかな和太鼓の演奏を繰り広げ、岡山の和太鼓が作り出す空間、太鼓の魅力を披露しました。備前市民をはじめ、多くの県民の皆さんに和太鼓の素晴らしさを伝えることができました。今後とも、それぞれの地域の文化を伝承・創造して、日々精進していきたいと思えます。



〈全参加団体によるフィナーレ〉

トピックス

市民との協働で総合フェスティバルを開催しました。

今回の総合フェスティバルは、初めての試みとして、市民との協働で開催準備を進めました。

平成18年2月に、総合フェスティバルの開催地である倉敷市民の有志を中心に集っていたが、企画段階から市民が参加することにより倉敷らしい文化を発信しようということになりました。4月には市民企画運営会議を立ち上げ、まちづくり団体や大学の先生、学生、経済団体など延べ40名の方にメンバーとなっていただきました。皆さんから出たアイデアをもとにイベントを練り、協働で開催準備を進めました。当日は盛りだくさんのイベントが開催され、会場一帯は大勢の人でにぎわいました。



第1回市民企画運営会議(平成18年4月26日(水))

4 文化活動支援・創造

①第41回岡山県文学選奨

県民の文芸創作活動を奨励し、もって豊かな県民文化の振興を図るため、昭和41年から岡山県文学選奨を実施しています。今年度は6月から8月まで募集し、11月27日(月)にピュアリティまきびで表彰式を行いました。

部 門	応 募 規 定	受 賞 者	審 査 員	応募点数
小説A	原稿用紙80枚以内	入選：諸山 立 題名：水底の街から	難波 聖爾 山本 森平	16点
小説B ・随筆	原稿用紙30枚以内	佳作：中川 昇 題名：遺伝染色体の雨の中で啓示を待つ —工藤哲巳さんの思い出— 佳作：谷 敏江 題名：呼び声	大月 綾雄 片山 峰子	45点
現代詩	3編一組	入選：斎藤 恵子 題名：川・雨・箒	今井 文世 壺阪 輝代	59点
短 歌	10首一組	入選：奥野 嘉子 題名：足袋の底裂きて	石川不二子 能見謙太郎	94点
俳 句	10句一組	入選：笹井 愛 題名：古備前	平松 良子 花房八重子	139点
川 柳	10句一組	入選：萩原 安子 題名：洗い髪	土居 哲秋 長谷川紫光	98点
童 話	幼児～3年生向け 10枚以内 4年生以上向け 20枚以内	入選：中嶋 恭子 題名：白いコスモス	三土 忠良 成 本 和子	34点
計		8名	総合審査 塩田 啓二 岡 隆夫	485点



小説A 入選
諸山 立



小説B・随筆 佳作
中川 昇



小説B・随筆 佳作
谷 敏江



現代詩 入選
斎藤 恵子



短歌 入選
奥野 嘉子



俳句 入選
笹井 愛



川柳 入選
萩原 安子



童話 入選
中嶋 恭子

②第57回岡山県美術展覧会

「県展」の愛称で親しまれています。岡山県内から美術作品を公募し、応募作品の中から優れた作品を選んで展示し、広く県民に美術鑑賞の機会を提供するとともに、作品の向上、地域文化の進展に寄与することを目的に開催しています。

- 出品数：3,556点〔日本画…112点、洋画……381点、工芸……241点、書道……2,161点、写真……325点、彫刻…… 18点、審査員・招待・委嘱…318点〕

期 間	会 場	入場者数
9月 6日(水)～ 9月10日(日) 9月13日(水)～ 9月17日(日)	岡山会場Ⅰ期 (県立美術館、岡山県天神山文化プラザ) 岡山会場Ⅱ期 (県立美術館、岡山県天神山文化プラザ)	9,760名
9月21日(木)～ 9月25日(月) 9月28日(木)～10月 2日(月)	津山会場Ⅰ期 (津山市立文化展示ホール) 津山会場Ⅱ期 (津山市立文化展示ホール)	1,806名
10月 5日(木)～10月 9日(月・祝)	笠岡会場 (笠岡市民会館)	1,634名
10月12日(木)～10月16日(月)	新見会場 (新見文化交流館)	1,037名
計		14,237名



〈洋 画〉



〈写真・彫刻〉



〈書 道〉



〈工 芸〉

③『アートの今・岡山2006』展

県内で活躍中の美術作家の作品を紹介する本展は、今回、岡山県を代表する造形作家7名を選抜し、その秀作9点を展示しました。紙、繊維、金属、ミクストメディアなどの多彩な素材で、表現方法も従来のものとは異なる多様性を見せ空間を自在に生かしたものとなりました。

- 出品作家：小田宏子、神崎佐知子、小林泰子、田口博康、福井一尊、松島千紗、真部剛一
- 期 間：平成18年11月8日(水)～11月26日(日)
- 場 所：岡山県天神山文化プラザ
- 入 場 者：1,103名

<参考>おかやま県民文化祭期間後の開催期日・場所

平成18年12月2日(土)～12月17日(日) 高梁市歴史美術館

平成19年 1月6日(土)～ 1月21日(日) 勝央美術文学館



5 鑑賞モニター（68名）

総合フェスティバル、分野別フェスティバルの中から2つ以上を鑑賞して、その事業について意見をいただきました。

お寄せいただいた感想、意見を来年度以降の事業計画に生かしていきたいと思っております。

協賛事業

おかやま県民文化祭の趣旨に賛同する市町村、個人又は文化団体等を募集したところ、194の事業が県内各地（21市町村）で実施されました。

① 音楽（洋楽等）	65事業
② 舞踊（バレエ、現代舞踊等）	2事業
③ 演劇（演劇、ミュージカル等）	8事業
④ 伝統芸能（邦楽、日本舞踊、伝統芸能等）	12事業
⑤ 美術（絵画、彫刻、工芸、書、写真等）	42事業
⑥ 映像（映画等）	3事業
⑦ 文芸（小説、詩、短歌、俳句、川柳、童話等）	14事業
⑧ 生活文化（華道、茶道、将棋、囲碁等）	9事業
⑨ 文化講演・シンポジウム	3事業
⑩ 総合（市町村文化祭等）	36事業

事務局だより

「第25回国民文化祭・おかやま2010」 基本構想案がまとまりました。

平成22年秋、各種文化活動の日頃の成果を全国規模で発表し、交流する国内最大級の文化の祭典、「第25回国民文化祭・おかやま2010」が岡山県で開催されます。

3月26日(月)に、県内外の有識者、文化関係者からなる第25回国民文化祭基本構想検討委員会（会長：大原謙一郎）で取りまとめられた基本構想案が知事に報告されました。この構想案は、今後、国の実行委員会（会長：平山郁夫）で承認を受けることとなります。

平成19年度には、県実行委員会を設置するとともに、関係団体や市町村と協議をしながら、県内で実施する様々な事業について開催日時、開催会場など事業の具体的内容の大枠をまとめた実施計画大綱案を策定していきます。



第2回基本構想検討委員会（平成18年11月21日(火)）

「第25回国民文化祭・おかやま2010」基本構想案に関する情報や検討の経緯などは県文化振興課のホームページをご覧ください。

国民文化祭のロゴをダウンロードしてチラシに印刷するなど、ご活用ください。



<http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/bunkasin/bunkasin.htm>

おかやま県民文化祭実行委員会設置要綱

(設置)

第1条 おかやま県民文化祭の円滑な運営と効果的な実施に資するため、おかやま県民文化祭実行委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、おかやま県民文化祭に係る次の事項を所掌する。

- 一 企画運営に関すること。
- 二 事業決定に関すること。
- 三 予算決算に関すること。
- 四 その他円滑な運営と効果的な実施のために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、文化芸術に関する識見を有する委員及び3名程度の公募の委員合わせて30名以内で組織し、委員は岡山県知事が委嘱する。

- 2 委員の任期は、原則として1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第4条 委員会に、次の役員を置く。

- 一 委員長 1名
 - 二 副委員長 若干名
 - 三 監事 2名
- 2 役員は、委員会において互選する。

(役員の職務)

第5条 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 監事は、委員会の会計を監査する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会の会議は、次の事項を審議し、決定する。
 - 一 おかやま県民文化祭の運営計画等に関すること。
 - 二 事業計画及び事業報告に関すること。
 - 三 分野別フェスティバルの選定に関すること。
 - 四 共催事業の承認に関すること。
 - 五 協賛事業の承認に関すること。
 - 六 予算及び決算に関すること。
 - 七 その他委員会の運営に関し必要な事項

(事務局)

第7条 委員会の事務局を岡山県生活環境部文化振興課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成15年5月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月11日から施行する。

第4回おかやま県民文化祭実行委員会委員名簿

H18.7.18現在

氏 名	役 職 名 等	備 考
東 敬 一	CARATプロジェクトカンパニー主宰	
磯 島 弘 子	公募委員（大学生）	
井 上 敬依子	岡山県バレエ連盟会長	
井 上 甫 之	元岡山フィルハーモニック管弦楽団事務局長	
梅 村 伊津郎	日本放送協会岡山放送局長	
大 原 謙一郎	岡山県文化連盟会長	委 員 長
大 本 旭 章	岡山県吟剣詩舞道総連盟理事長	
岡 崎 彬	岡山県商工会議所連合会会長	
鍵 岡 正 謹	岡山県立美術館館長	
近 藤 安 个	岡山県合唱連盟会長	
佐 藤 道 郎	岡山県吹奏楽連盟理事長	
塩 治 尺 山	岡山三曲協会副会長	監 事
武 市 昌 之	(財)岡山県青年館常務理事	
竹 内 洋 二	岡山県市長会会長	
竹 本 健 司	岡山県俳人会会長	副委員長
田 村 孝 子	公募委員（フルート奏者）	
中 井 孝 夫	岡山県町村会会長	
中 野 行 雄	岡山県生活環境部長	
難 波 瑞 枝	公募委員（会社員、茶道・華道・ソイルクラフト講師）	
西 本 和 馬	岡山県商工会連合会会長	
土 師 真 一	(財)倉敷市文化振興財団常務理事	
蛭 田 二 郎	岡山県美術家協会会長	
藤 井 邦 昭	(株)山陽新聞社取締役事業局長	
松 田 堯	岡山県茶道連盟会長	
水 野 三重子	岡山県婦人協議会会長	
村 上 進 通	岡山県農業協同組合中央会会長	
室 山 貴 義	倉敷市文化連盟会長	
森 川 星 葉	岡山県書道連盟会長	監 事

(50音順)

第4回おかやま県民文化祭開催要項

1 趣 旨

県民が文化に親しみ交流するとともに、日頃の文化活動の成果を発表する場として、また、国民文化祭の開催に向け気運の盛り上げを図るため、「県民総参加型」の文化の祭典を開催する。

2 主 催

岡山県 おかやま県民文化祭実行委員会 岡山県文化連盟
開催市町村 開催市町村文化協会 各種文化団体

3 役 員

大会会長：岡山県知事
大会副会長：岡山県議会議長 岡山県市長会会長 岡山県町村会会長

4 期 間

9月から11月までの3か月間

5 開催地

県内市町村

6 事 業

(1) 主催事業

県若しくはおかやま県民文化祭実行委員会（以下「実行委員会」という。）が企画立案し、費用の全額若しくは一部を負担するもの又は各種文化団体等が企画立案する事業に県若しくは実行委員会が参画し、費用の一部を負担するもので、実行委員会が適当と認めたものとする。

ア 総合フェスティバル

・舞台公演、展示発表等

イ 芸術鑑賞

・岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会

ウ 文化団体支援

・分野別フェスティバル

各分野の県レベル文化団体が主催する事業

エ 文化活動支援

・第41回 岡山県文学選奨

・第57回 岡山県美術展覧会

・「アートは今・岡山2006」展

(2) 共催事業

市町村等が企画立案し、おかやま県民文化祭の主催事業と連携して実施するもので、実行委員会が適当と認めたものとする。

(3) 協賛事業

おかやま県民文化祭の趣旨に賛同した事業で、別に定める基準を満たすものとする。

なお、主催者の求めに応じ、県民文化祭賞（実行委員会委員長名）を1事業につき1点交付することができる。

7 その他

この要項に定めるもののほかおかやま県民文化祭の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第4回おかやま県民文化祭実施細則

第1条 おかやま県民文化祭開催要項（以下「要項」という。）に基づき、おかやま県民文化祭の運営に関し、必要な事項を定める。

第2条 要項6（3）に定める協賛事業は、次の各号に定めるものとする。

- 一 おかやま県民文化祭期間中に開催される事業であること。
- 二 次の10部門のいずれかに該当するもの
 - ア 音楽（洋楽等）
 - イ 舞踊（バレエ、モダンダンス等）
 - ウ 演劇（演劇、人形劇、ミュージカル等）
 - エ 伝統芸能（邦楽、日本舞踊、民俗芸能等）
 - オ 美術（絵画、彫刻、工芸、書、写真等）
 - カ 映像（映画、アニメーション等）
 - キ 文芸（小説、詩、短歌、俳句、川柳、童話等）
 - ク 生活文化（華道、茶道、将棋、囲碁等）
 - ケ 文化講演・シンポジウム
 - コ 総合（市町村文化祭等）
- 三 市町村、創作活動を行う個人又は文化団体等が開催する文化的事業で、次のすべてを満たすものとする。
 - ア おかやま県民文化祭にふさわしい意欲的な内容であること。
 - イ 広く県民を対象としたものであること。
 - ウ 県内で開催されるもので期日、会場等が確定している事業であること。
 - エ 不当に営利的・宣伝的なものでないこと。
 - オ 政治及び宗教活動を含まないこと。

第3条 分野別フェスティバル事業の主催者は、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入するものとする。

- 一 主催 岡山県 おかやま県民文化祭実行委員会
- 二 第4回おかやま県民文化祭分野別フェスティバル

第4条 共催事業の主催者は、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入するものとする。

- 一 共催 岡山県 おかやま県民文化祭実行委員会
- 二 第4回おかやま県民文化祭共催事業

第5条 協賛事業の主催者は、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入するものとする。

- 第4回おかやま県民文化祭協賛事業 （「第4回」及び「事業」は省略可）

第6条 分野別フェスティバル、共催事業及び協賛事業の主催者は、事業終了後1か月以内に、関係資料を添付し、おかやま県民文化祭実行委員会に実績報告書を提出するものとする。

第41回岡山県文学選奨募集要項

1 趣 旨 県民の文芸創作活動を奨励し、もって豊かな県民文化の振興を図る。

2 主 催 岡山県、おかやま県民文化祭実行委員会

3 募集部門、賞、賞金等

募 集 部 門	賞 及 び 賞 金
(1) 小説A 一人 1編 原稿用紙80枚以内	入選 1名：15万円 (入選者がいない場合、佳作2名以内：7万5千円)
(2) 小説B・随筆 一人 1編 原稿用紙30枚以内	
(3) 現代詩 一人 3編 一組	入選各1名：10万円 (各部門とも入選者がいない場合、佳作2名以内：5万円)
(4) 短 歌 一人 10首 一組	
(5) 俳 句 一人 10句 一組	
(6) 川 柳 一人 10句 一組	
(7) 童 話 一人 1編 幼児～3年生向け 10枚以内 4年生以上 向け 20枚以内	
※小説A・B両部門ともシナリオ及びノンフィクションを含む。 ※小説B・随筆部門は、小説B、随筆を合わせて一部門とする。	

4 応募資格・応募規定

資 格	(1) 岡山県内在住者 (2) 年齢は問わない。 (過去の入選者は、その入選部門には応募できない。) (平成2年度までの小説部門入選者は、小説A、小説B・随筆いずれにも応募できない。)
応 募	(1) 未発表の創作作品であること。 (同人誌への発表作品も不可とする。ただし、小説A、小説B・随筆部門については、平成17年9月1日～平成18年8月31日までの同人誌への発表作品は可とする。) (2) 他の文学賞等へ同時に応募することはできない。
募 規 定	(1) 応募作品は、最終作品としてとらえる。 (2) 誤字・脱字、漢字、文法、史実上の間違いも審査の対象とする。 (3) 読みやすく、ていねいに書くこと。 (4) A4サイズの400字詰縦書原稿用紙を使用すること。(特定の結社等の原稿用紙は不可) (5) ワープロ原稿も可(詳細は、裏面応募用紙の(注)を参照) (6) 原稿には部門及び題名を記入する。氏名(筆名)は記入しない。 (7) 短歌部門は、原稿用紙右下に、新・旧仮名遣いの別を明記すること。 (8) 所定の事項を明記した応募用紙(裏面参照・A4サイズ)を添付すること。 (9) 応募作品は、岡山県の出版物等に無償で利用できるものとする。 (10) 応募作品は一切返却しない。

5 審査員

小 説 A	難波 聖爾・山本 森平	俳 句	平松 良子・花房八重子
小説B・随筆	大月 綾雄・片山 峰子	川 柳	土居 哲秋・長谷川紫光
現 代 詩	今井 文世・壺阪 輝代	童 話	三土 忠良・成 本 和子
短 歌	石川不二子・能見謙太郎	総 合	塩田 啓二・岡 隆夫

6 募集締切 平成18年8月31日(木) 当日消印有効

※応募作品を直接持参する場合は月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとする。

7 発 表

平成18年11月中旬(新聞紙上で発表予定)
 ※自作の審査結果を直接知りたい方は、宛先を明記した返信用の官製葉書または80円切手を貼った封筒を同封すること。
 ※応募作品・審査結果についての電話による問い合わせには一切応じない。
 入選(佳作)作品及び準佳作作品については、作品集「岡山の文学」(平成19年3月発刊予定)に収録する。

8 応募原稿 送付先 〒700—8570 (住所不要) 岡山県生活環境部文化振興課内 文学選奨の係
電話 (086)233—5710 (直通)

第4回おかやま県民文化祭鑑賞モニター募集

平成22年度に岡山県で開催する第25回国民文化祭に向けて、おかやま県民文化祭をよりすばらしいものにしていくため、次の事業を鑑賞し、ご意見をいただける方(鑑賞モニター)を募集します。

■応募資格

県内に在住し、対象事業の中から2つ以上を鑑賞し、感想をお寄せいただける方

■対象事業

番号	事業名	期 日	開演時刻	会 場
1	総合フェスティバル トワイライトコンサート・現代舞踊	10月21日(土)	16:30	倉敷市芸文館(倉敷市)
2	“和と洋”音楽の祭典	10月22日(日)	13:30	倉敷市芸文館(倉敷市)
3	岡山県青少年少女合唱連盟演奏会総社大会	9月3日(日)	13:00	総社市民会館(総社市)
4	分 第2回岡山県バレエフェスティバル	9月3日(日)	14:00	岡山市民会館(岡山市)
5	野 日本舞踊チャリティ公演	9月9日(土)	11:30	岡山市立市民文化ホール(岡山市)
6	別 第19回岡山県マーチングコンテスト 第25回岡山県小学校バンドフェスティバル	9月18日(月・祝)	13:00	津山総合体育館(津山市)
7	フ 第45回中国合唱コンクール	9月23日(土・祝) 24日(日)	10:30 10:00	岡山シンフォニーホール(岡山市) (同上)
8	ス 第5回マーチングバンド・パトナーリング岡山県大会	9月23日(土・祝)	13:30	きびジアリーナ(総社市)
9	テ 第2回岡山県俳句大会	10月9日(月・祝)	12:00	岡山国際交流センター(岡山市)
10	イ 第51回岡山県吟剣詩舞道大会	10月22日(日)	9:30	倉敷市児島文化センター(倉敷市)
11	第87回岡山県短歌大会	10月29日(日)	10:00	久米南町文化センター(久米南町)
12	岡山三曲協会定期演奏会	10月29日(日)	12:00	岡山市民会館(岡山市)
13	パ Dance Performance 2006	11月12日(日)	15:00	岡山市立市民文化ホール(岡山市)
14	ル 近県交流 現代詩講演会No.2	11月18日(土)	13:30	ピュアリティまきび(岡山市)
15	第13回たいこ・タイコ・太鼓コンサート	11月26日(日)	13:30	備前市市民センター(備前市)
16	第57回岡山県美術展覧会 会場(①岡山、②津山、③笠岡、④新見)	9月6日(水)～	—	県下4会場(詳細は裏面)

■募集締切 平成18年8月17日(木) 必着

■定 員 50名

■応募方法

鑑賞モニターを希望される方は、右の様式により「郵送」、「FAX」又は「メール」で、おかやま県民文化祭実行委員会事務局(岡山県生活

ハガキ(記入例)

第4回 おかやま県民文化祭
鑑賞モニター希望

〒 住所、氏名、年齢、職業、電話番号、
希望する事業(公演)の番号を2つ以上記入
(16については、16-①のように希望会場を表示して記入)

■決 定

事業により入場者数に制限がありますので、応募多数の場合は、希望事業(公演)別に抽選の上、モニターを決定します。決定した方には、招待券、パンフレット、アンケート用紙等をお送りします。

■そ の 他

鑑賞モニターには、モニターに決定した事業(公演)を鑑賞の上、アンケート用紙に感想、意見を記入して返送していただきます。感想、意見をお寄せいただいたモニターの方には、記念品を差し上げます。

〈個人情報取り扱い〉応募いただいた個人情報は、案内の通知など本事業の目的にのみ使用します。

■申込み及びお問い合わせ先

〒700-8570(住所不要) 岡山県生活環境部文化振興課内 おかやま県民文化祭実行委員会事務局
TEL: 086-233-5712(直通) FAX: 086-233-5720 E-mail bunkasin@pref.okayama.lg.jp

第4回おかやま県民文化祭協賛事業募集要項

1 趣 旨

おかやま県民文化祭の趣旨に賛同した市町村、創作活動を行う個人又は文化団体等が自主的に公演発表を行い、地域における文化活動を促進するとともに、おかやま県民文化祭の振興を図る。

2 主 催

協賛事業の主催者は、市町村、創作活動を行う個人又は文化団体等とする。

3 協賛部門及び条件

- (1) おかやま県民文化祭期間中（9月～11月開催）に開催される事業であること。
 (2) 次の10部門のいずれかに該当する事業であること。

- ①音楽（洋楽等）
- ②舞踊（バレエ、モダンダンス等）
- ③演劇（演劇、人形劇、ミュージカル等）
- ④伝統芸能（邦楽、日本舞踊、民俗芸能等）
- ⑤美術（絵画、彫刻、工芸、書、写真等）
- ⑥映像（映画、アニメーション等）
- ⑦文芸（小説、詩、短歌、俳句、川柳、童話等）
- ⑧生活文化（華道、茶道、将棋、囲碁等）
- ⑨文化講演・シンポジウム
- ⑩総合（市町村文化祭等）

- (3) 文化的公演発表等で、次の条件をすべて満たすものであること。

- ①おかやま県民文化祭にふさわしい意欲的な内容であること。
- ②広く県民を対象としたものであること。
- ③県内で開催されるもので期日、会場等が確定している事業であること。
- ④不当に営利的・宣伝的なものでないこと。
- ⑤政治及び宗教活動を含まないこと。

4 協賛事業である旨の表示

協賛事業については、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入すること。

第4回 おかやま県民文化祭協賛事業（「第4回」及び「事業」は省略可）

5 県民文化祭賞について

主催者が必要とする場合には、県民文化祭賞（おかやま県民文化祭実行委員会委員長名）を1事業につき1点交付する。なお、賞状は主催者において準備するものとする。

6 報 告

協賛事業終了後1か月以内に資料を添付し、「おかやま県民文化祭協賛事業実績報告書」（別途送付）により報告すること。

7 応募方法

申込書に必要事項を記入し、関連する資料を添付し、おかやま県民文化祭実行委員会あてに提出すること。

- | | |
|--------|------------------|
| 1次締め切り | 平成18年 7月 7日（金）必着 |
| 最終締め切り | 平成18年 8月31日（木）必着 |

※県文化振興課ホームページへ事業の概要を掲載します。

1次締め切りまでにお申し込みいただいた場合は、あわせて「第4回 おかやま県民文化祭」のパンフレットへも掲載いたします。

8 問い合わせ及び送付先

〒700-8570（この郵便番号を使うと住所の記載は不要です。）

岡山県生活環境部文化振興課内 おかやま県民文化祭実行委員会事務局あて

TEL 086-233-5712 FAX 086-233-5720 E-mail bunkasin@pref.okayama.lg.jp

※申込書は県文化振興課のホームページからダウンロードできます。

ホームページアドレス <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/bunkasin/bunkasin.htm>

第4回おかやま県民文化祭事業実績一覧

主催事業

内 容	日 時	場 所	入場者数等
総合フェスティバル	10月20日(金)～22日(日)	倉敷市立美術館 倉敷市芸文館	10,867名
【共催事業】	10月21日(土)～11月12日(日)	倉敷チボリ公園	
'06倉敷フォトミューラル	10月24日(火)～11月 5日(日)	倉敷駅前アーケード	
芸術鑑賞 岡山フィルハーモニック管弦楽団 第30回定期演奏会	10月1日(日)	岡山シンフォニーホール	1,670名
第4回おかやま県民文化祭倉敷公演	11月10日(金)	倉敷市芸文館	505名
岡山県少年少女合唱連盟演奏会総社大会	9月 3日(日)	総社市民会館	1,038名
第2回岡山県パレエフェスティバル	9月 3日(日)	岡山市市民会館	1,659名
日本舞踊チャリティ公演	9月 9日(土)	岡山市立市民文化ホール	747名
第19回岡山県マーチングコンテスト・第25回岡山県小学校バンドフェスティバル	9月18日(月・祝)	津山総合体育館	2,000名
第45回中国合唱コンクール	9月23日(土・祝) 9月24日(日)	岡山シンフォニーホール	3,415名
第5回マーチングバンド・パトントワーリング岡山県大会	9月23日(土・祝)	きびじアリーナ(総社市)	600名
第2回岡山県俳句大会	10月 9日(月・祝)	岡山国際交流センター	208名
第51回岡山県吟剣詩舞道大会	10月22日(日)	倉敷市児島文化センター	830名
第87回岡山県短歌大会	10月29日(日)	久米南町文化センター	125名
岡山三曲協会定期演奏会	10月29日(日)	岡山市市民会館	670名
Dance Performance 2006	11月12日(日)	岡山市立市民文化ホール	600名
近県交流 現代詩講演会No.2	11月18日(土)	ピュアリティまきび	73名
第13回たいこ・タイコ・太鼓コンサート	11月26日(日)	備前市市民センター	800名
第41回岡山県文学選奨	受賞者 8名	応募数485点	—
第57回岡山県美術展覧会	出品数	3,556点	14,237名
『アートの今・岡山2006』展	11月 8日(水)～11月26日(日)	岡山県天神山文化プラザ	1,103名

協賛事業

分 野	事 業 数	入場者数等
音 楽	65	34,500名
舞 踊	2	1,672名
演 劇	8	2,487名
伝統芸能	12	3,242名
美 術	42	164,433名
映 像	3	539名
文 芸	14	3,513名
生活文化	9	6,770名
文化講演・シンポジウム	3	450名
総合〈市町村文化祭等〉	36	34,703名
計	194	252,309名

(チボリ公園の入場者数を除く)

総入場者数等

区 分	事 業 数	入場者数等
主催・共催事業	20	41,147名
協賛事業	194	252,309名
計	214	293,456名

チボリ公園での協賛事業実施期間中における同園の入場者数	123,965名
-----------------------------	----------

総 合 計	417,421名
-------	----------

第25回国民文化祭・おかやま2010基本構想案の概要

I 基本的な考え方

1 開催の意義

県民自らが岡山の文化の特性と魅力を認識し、誇りを持って国内外に発信するとともに、伝統文化の継承と新たな文化の創造、文化を媒体とした豊かな地域づくりへの決意を共有し、実践していく。また、県境や国境を越えた地域や人々と連携交流しながら、先人から引き継いだものに新しい時代の風を吹き込み、参加者一人一人がいきいきと輝くことのできる未来を展望した国民文化祭とする。

2 基本方針

- ①感動や喜びを分かちあえる祭典
- ②県民の積極的な参画による岡山の文化の再発見
- ③国内外との文化交流による文化芸術活動のレベルアップ
- ④おもてなしの心でのふれあいと交流

3 開催を契機として

- ①岡山の文化をより豊かで多彩なものとする
- ②文化の受発信による相互理解と新たな文化の創造
- ③伝統文化の継承と次世代の文化芸術活動の支援
- ④地域の文化の再発見や掘り起こしによる地域社会の再生

II 名称、テーマ、会期等

1 名称 第25回国民文化祭・おかやま2010

2 テーマ 晴れの国おかやま 文化回廊

「地域と歴史を「めぐる」、人と人とを「つなぐ」、
 未来へと「のびる」文化の回廊をめざす。」

3 主催者 文化庁、岡山県、岡山県教育委員会、開催市町村、文化団体等

4 会期 平成22年(2010年)10月30日(土)～11月7日(日) [9日間]

5 開催地 岡山県内各地

6 シンボルマーク 第1回からの統一シンボルマーク 

7 マスコットキャラクター 岡山県マスコットである「ももっち」の活用

III 事業構想

1 主催事業の基本方針

- ・楽しさや魅力にあふれた工夫
- ・ユニバーサルデザインにより、誰もが気軽に快適に参加できる事業展開
- ・ITを活用した、参加促進と新しい文化への取組
- ・県民参加による新たな企画や試み、岡山文化の再発見
- ・自然や環境、産業、観光等の視点も加えた文化による地域振興
- ・これまでの成果の発揮や異分野、プロとの交流による内容の充実
- ・地域交流や海外文化交流による相互理解と友好の構築

2 主催事業の構想：裏面のとおり

3 協賛事業：国民文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿った文化事業について、文化庁が協賛事業として承認する。

IV 広報計画

国民文化祭の本県開催が県内外に広く周知されるように、様々な機会を通じて効果的かつ個性ある広報活動を展開する。

V 運営計画

運営主体は平成19年度に設置する「第25回国民文化祭岡山県実行委員会」とする。

第25回国民文化祭・おかやま2010基本構想案の概要

主催事業の構想

主催事業の構想については、現時点での市町村や文化団体の意向も踏まえてまとめたものである。この構想を出発点とし、今後個々具体的な検討を加え、事業数の拡大や事業内容の充実を図り、多彩な国民文化祭をめざす。

①総合フェスティバル（3事業）

オープニングパレード
開会式・オープニングフェスティバル
閉会式・グランドフィナーレ

②シンポジウム（4事業）

地域と「文化」 ～地域における文化のあり方を探る～
古代吉備の風景
音楽のあふれる街づくり
洋学と日本近代化

③分野別フェスティバル・継続事業（10事業）

合唱の祭典	全国吟詠剣詩舞道祭
吹奏楽の祭典 (吹奏楽) (マーチング・バトントワリング)	(和太鼓フェスティバル)
オーケストラの祭典	民俗芸能の祭典 (神楽フェスティバル) (盆踊りフェスティバル)
民謡・民舞の祭典	文芸祭
演劇祭 (現代劇) (ミュージカル) (人形劇)	美術展
	生活文化総合フェスティバル

④分野別フェスティバル・独自事業（31事業）

音楽分野	少年少女合唱祭	美術分野 (続き)	漫画フェスティバル	
	邦楽の祭典		絵手紙展	
	大正琴の祭典		名刀フェスティバル	
	ジャズ・フェスティバル		陶芸の祭典	
	ミュージック・フェスティバル		生活文化・ その他分野	茶道フェスティバル
	オペラ			大華道展
	童謡・子守歌フェスティバル			食と酒の祭典
	街中(まちじゅう)音楽祭			ジーンズ・ファッション・フェスティバル
舞踊分野	日本舞踊の祭典	クラシックカー・フェスティバル		
	洋舞フェスティバル	園芸フェスティバル		
伝統芸能分野	地歌舞伎の祭典	かるたフェスティバル		
	能・狂言フェスティバル	朝鮮通信使の祭典		
文芸分野	児童文学・童話フェスティバル	出雲街道交流フェスティバル		
	文学シンポジウム	舞台芸術祭		
美術分野	現代美術展	「晴れの国」提案事業		
	メディア芸術祭			

おかやま県民文化祭実行委員会設置要綱

(設置)

第1条 おかやま県民文化祭の円滑な運営と効果的な実施に資するため、おかやま県民文化祭実行委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(事業)

第2条 委員会は、おかやま県民文化祭に係る次の事項を所掌する。

- 一 企画運営に関すること。
- 二 事業決定に関すること。
- 三 予算決算に関すること。
- 四 その他円滑な運営と効果的な実施のために必要な事項

(組織)

第3条 委員会は、文化芸術に関する識見を有する委員及び3名程度の公募の委員合わせて30名以内で組織し、委員は岡山県知事が委嘱する。

- 2 委員の任期は、原則として1年とする。ただし、再任を妨げない。
- 3 補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(役員)

第4条 委員会に、次の役員を置く。

- 一 委員長 1名
 - 二 副委員長 若干名
 - 三 監事 2名
- 2 役員は、委員会において互選する。

(役員の職務)

第5条 委員長は、委員会を代表し、会務を総括する。

- 2 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときはその職務を代行する。
- 3 監事は、委員会の会計を監査する。

(会議)

第6条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長が議長となる。

- 2 委員会の会議は、次の事項を審議し、決定する。
 - 一 おかやま県民文化祭の運営計画等に関すること。
 - 二 事業計画及び事業報告に関すること。
 - 三 分野別フェスティバルの選定に関すること。
 - 四 共催事業の承認に関すること。
 - 五 協賛事業の承認に関すること。
 - 六 予算及び決算に関すること。
 - 七 その他委員会の運営に関し必要な事項

(事務局)

第7条 委員会の事務局を岡山県生活環境部文化振興課内に置く。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、必要な事項は別に定めるものとする。

附 則

この要綱は、平成15年5月30日から施行する。

附 則

この要綱は、平成18年4月11日から施行する。

第4回おかやま県民文化祭実行委員会委員名簿

H18.7.18現在

氏 名	役 職 名 等	備 考
東 敬 一	CARATプロジェクトカンパニー主宰	
磯 島 弘 子	公募委員（大学生）	
井 上 敬依子	岡山県バレエ連盟会長	
井 上 甫 之	元岡山フィルハーモニック管弦楽団事務局長	
梅 村 伊津郎	日本放送協会岡山放送局長	
大 原 謙一郎	岡山県文化連盟会長	委 員 長
大 本 旭 章	岡山県吟剣詩舞道総連盟理事長	
岡 崎 彬	岡山県商工会議所連合会会長	
鍵 岡 正 謹	岡山県立美術館館長	
近 藤 安 个	岡山県合唱連盟会長	
佐 藤 道 郎	岡山県吹奏楽連盟理事長	
塩 治 尺 山	岡山三曲協会副会長	監 事
武 市 昌 之	(財)岡山県青年館常務理事	
竹 内 洋 二	岡山県市長会会長	
竹 本 健 司	岡山県俳人会会長	副委員長
田 村 孝 子	公募委員（フルート奏者）	
中 井 孝 夫	岡山県町村会会長	
中 野 行 雄	岡山県生活環境部長	
難 波 瑞 枝	公募委員（会社員、茶道・華道・ソイルクラフト講師）	
西 本 和 馬	岡山県商工会連合会会長	
土 師 真 一	(財)倉敷市文化振興財団常務理事	
蛭 田 二 郎	岡山県美術家協会会長	
藤 井 邦 昭	(株)山陽新聞社取締役事業局長	
松 田 堯	岡山県茶道連盟会長	
水 野 三重子	岡山県婦人協議会会長	
村 上 進 通	岡山県農業協同組合中央会会長	
室 山 貴 義	倉敷市文化連盟会長	
森 川 星 葉	岡山県書道連盟会長	監 事

(50音順)

第4回おかやま県民文化祭開催要項

1 趣 旨

県民が文化に親しみ交流するとともに、日頃の文化活動の成果を発表する場として、また、国民文化祭の開催に向け気運の盛り上げを図るため、「県民総参加型」の文化の祭典を開催する。

2 主 催

岡山県 おかやま県民文化祭実行委員会 岡山県文化連盟
開催市町村 開催市町村文化協会 各種文化団体

3 役 員

大会会長：岡山県知事
大会副会長：岡山県議会議長 岡山県市長会会長 岡山県町村会会長

4 期 間

9月から11月までの3か月間

5 開催地

県内市町村

6 事 業

(1) 主催事業

県若しくはおかやま県民文化祭実行委員会（以下「実行委員会」という。）が企画立案し、費用の全額若しくは一部を負担するもの又は各種文化団体等が企画立案する事業に県若しくは実行委員会が参画し、費用の一部を負担するもので、実行委員会が適当と認めたものとする。

ア 総合フェスティバル

・舞台公演、展示発表等

イ 芸術鑑賞

・岡山フィルハーモニック管弦楽団演奏会

ウ 文化団体支援

・分野別フェスティバル

各分野の県レベル文化団体が主催する事業

エ 文化活動支援

・第41回 岡山県文学選奨

・第57回 岡山県美術展覧会

・「アートは今・岡山2006」展

(2) 共催事業

市町村等が企画立案し、おかやま県民文化祭の主催事業と連携して実施するもので、実行委員会が適当と認めたものとする。

(3) 協賛事業

おかやま県民文化祭の趣旨に賛同した事業で、別に定める基準を満たすものとする。

なお、主催者の求めに応じ、県民文化祭賞（実行委員会委員長名）を1事業につき1点交付することができる。

7 その他

この要項に定めるもののほかおかやま県民文化祭の運営に関し必要な事項は、別に定める。

第4回おかやま県民文化祭実施細則

第1条 おかやま県民文化祭開催要項（以下「要項」という。）に基づき、おかやま県民文化祭の運営に関し、必要な事項を定める。

第2条 要項6（3）に定める協賛事業は、次の各号に定めるものとする。

- 一 おかやま県民文化祭期間中に開催される事業であること。
- 二 次の10部門のいずれかに該当するもの
 - ア 音楽（洋楽等）
 - イ 舞踊（バレエ、モダンダンス等）
 - ウ 演劇（演劇、人形劇、ミュージカル等）
 - エ 伝統芸能（邦楽、日本舞踊、民俗芸能等）
 - オ 美術（絵画、彫刻、工芸、書、写真等）
 - カ 映像（映画、アニメーション等）
 - キ 文芸（小説、詩、短歌、俳句、川柳、童話等）
 - ク 生活文化（華道、茶道、将棋、囲碁等）
 - ケ 文化講演・シンポジウム
 - コ 総合（市町村文化祭等）
- 三 市町村、創作活動を行う個人又は文化団体等が開催する文化的事業で、次のすべてを満たすものとする。
 - ア おかやま県民文化祭にふさわしい意欲的な内容であること。
 - イ 広く県民を対象としたものであること。
 - ウ 県内で開催されるもので期日、会場等が確定している事業であること。
 - エ 不当に営利的・宣伝的なものでないこと。
 - オ 政治及び宗教活動を含まないこと。

第3条 分野別フェスティバル事業の主催者は、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入するものとする。

- 一 主催 岡山県 おかやま県民文化祭実行委員会
- 二 第4回おかやま県民文化祭分野別フェスティバル

第4条 共催事業の主催者は、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入するものとする。

- 一 共催 岡山県 おかやま県民文化祭実行委員会
- 二 第4回おかやま県民文化祭共催事業

第5条 協賛事業の主催者は、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入するものとする。

- 第4回おかやま県民文化祭協賛事業 （「第4回」及び「事業」は省略可）

第6条 分野別フェスティバル、共催事業及び協賛事業の主催者は、事業終了後1か月以内に、関係資料を添付し、おかやま県民文化祭実行委員会に実績報告書を提出するものとする。

第41回岡山県文学選奨募集要項

1 趣 旨 県民の文芸創作活動を奨励し、もって豊かな県民文化の振興を図る。

2 主 催 岡山県、おかやま県民文化祭実行委員会

3 募集部門、賞、賞金等

募 集 部 門	賞 及 び 賞 金
(1) 小説A 一人 1編 原稿用紙80枚以内	入選 1名：15万円 (入選者がいない場合、佳作2名以内：7万5千円)
(2) 小説B・随筆 一人 1編 原稿用紙30枚以内	
(3) 現代詩 一人 3編 一組	入選各1名：10万円 (各部門とも入選者がいない場合、佳作2名以内：5万円)
(4) 短 歌 一人 10首 一組	
(5) 俳 句 一人 10句 一組	
(6) 川 柳 一人 10句 一組	
(7) 童 話 一人 1編 幼児～3年生向け 10枚以内 4年生以上 向け 20枚以内	
※小説A・B両部門ともシナリオ及びノンフィクションを含む。 ※小説B・随筆部門は、小説B、随筆を合わせて一部門とする。	

4 応募資格・応募規定

資 格	(1) 岡山県内在住者 (2) 年齢は問わない。 (過去の入選者は、その入選部門には応募できない。) (平成2年度までの小説部門入選者は、小説A、小説B・随筆いずれにも応募できない。)
応 募	(1) 未発表の創作作品であること。 (同人誌への発表作品も不可とする。ただし、小説A、小説B・随筆部門については、平成17年9月1日～平成18年8月31日までの同人誌への発表作品は可とする。) (2) 他の文学賞等へ同時に応募することはできない。
募 規 定	(1) 応募作品は、最終作品としてとらえる。 (2) 誤字・脱字、漢字、文法、史実上の間違いも審査の対象とする。 (3) 読みやすく、ていねいに書くこと。 (4) A4サイズの400字詰縦書原稿用紙を使用すること。(特定の結社等の原稿用紙は不可) (5) ワープロ原稿も可(詳細は、裏面応募用紙の(注)を参照) (6) 原稿には部門及び題名を記入する。氏名(筆名)は記入しない。 (7) 短歌部門は、原稿用紙右下に、新・旧仮名遣いの別を明記すること。 (8) 所定の事項を明記した応募用紙(裏面参照・A4サイズ)を添付すること。 (9) 応募作品は、岡山県の出版物等に無償で利用できるものとする。 (10) 応募作品は一切返却しない。

5 審査員

小 説 A	難波 聖爾・山本 森平	俳 句	平松 良子・花房八重子
小説B・随筆	大月 綾雄・片山 峰子	川 柳	土居 哲秋・長谷川紫光
現 代 詩	今井 文世・壺阪 輝代	童 話	三土 忠良・成 本 和子
短 歌	石川不二子・能見謙太郎	総 合	塩田 啓二・岡 隆夫

6 募集締切 平成18年8月31日(木) 当日消印有効

※応募作品を直接持参する場合は月曜日～金曜日の午前9時～午後5時までとする。

7 発 表

平成18年11月中旬(新聞紙上で発表予定)
 ※自作の審査結果を直接知りたい方は、宛先を明記した返信用の官製葉書または80円切手を貼った封筒を同封すること。
 ※応募作品・審査結果についての電話による問い合わせには一切応じない。
 入選(佳作)作品及び準佳作作品については、作品集「岡山の文学」(平成19年3月発刊予定)に収録する。

8 応募原稿 送付先 〒700—8570 (住所不要) 岡山県生活環境部文化振興課内 文学選奨の係
電話 (086)233—5710 (直通)

第4回おかやま県民文化祭鑑賞モニター募集

平成22年度に岡山県で開催する第25回国民文化祭に向けて、おかやま県民文化祭をよりすばらしいものにしていくため、次の事業を鑑賞し、ご意見をいただける方(鑑賞モニター)を募集します。

■応募資格

県内に在住し、対象事業の中から2つ以上を鑑賞し、感想をお寄せいただける方

■対象事業

番号	事業名	期日	開演時刻	会場
1	総合フェスティバル トワイライトコンサート・現代舞踊	10月21日(土)	16:30	倉敷市芸文館(倉敷市)
2	“和と洋”音楽の祭典	10月22日(日)	13:30	倉敷市芸文館(倉敷市)
3	岡山県青少年少女合唱連盟演奏会総社大会	9月3日(日)	13:00	総社市民会館(総社市)
4	分 第2回岡山県バレエフェスティバル	9月3日(日)	14:00	岡山市民会館(岡山市)
5	野 日本舞踊チャリティ公演	9月9日(土)	11:30	岡山市立市民文化ホール(岡山市)
6	別 第19回岡山県マーチングコンテスト 第25回岡山県小学校バンドフェスティバル	9月18日(月・祝)	13:00	津山総合体育館(津山市)
7	フ 第45回中国合唱コンクール	9月23日(土・祝) 24日(日)	10:30 10:00	岡山シンフォニーホール(岡山市) (同上)
8	ス 第5回マーチングバンド・パトナーリング岡山県大会	9月23日(土・祝)	13:30	きびジアリーナ(総社市)
9	テ 第2回岡山県俳句大会	10月9日(月・祝)	12:00	岡山国際交流センター(岡山市)
10	イ 第51回岡山県吟剣詩舞道大会	10月22日(日)	9:30	倉敷市児島文化センター(倉敷市)
11	第87回岡山県短歌大会	10月29日(日)	10:00	久米南町文化センター(久米南町)
12	岡山三曲協会定期演奏会	10月29日(日)	12:00	岡山市民会館(岡山市)
13	パ Dance Performance 2006	11月12日(日)	15:00	岡山市立市民文化ホール(岡山市)
14	ル 近県交流 現代詩講演会No.2	11月18日(土)	13:30	ピュアリティまきび(岡山市)
15	第13回たいこ・タイコ・太鼓コンサート	11月26日(日)	13:30	備前市市民センター(備前市)
16	第57回岡山県美術展覧会 会場(①岡山、②津山、③笠岡、④新見)	9月6日(水)～	—	県下4会場(詳細は裏面)

■募集締切 平成18年8月17日(木) 必着

■定員 50名

■応募方法

鑑賞モニターを希望される方は、右の様式により「郵送」、「FAX」又は「メール」で、おかやま県民文化祭実行委員会事務局(岡山県生活

ハガキ(記入例)

第4回 おかやま県民文化祭
鑑賞モニター希望

〒住所、氏名、年齢、職業、電話番号、
希望する事業(公演)の番号を2つ以上記入
(16については、16-①のように希望会場を表示して記入)

■決定

事業により入場者数に制限がありますので、応募多数の場合は、希望事業(公演)別に抽選の上、モニターを決定します。決定した方には、招待券、パンフレット、アンケート用紙等をお送りします。

■その他

鑑賞モニターには、モニターに決定した事業(公演)を鑑賞の上、アンケート用紙に感想、意見を記入して返送していただきます。感想、意見をお寄せいただいたモニターの方には、記念品を差し上げます。

〈個人情報の取り扱い〉応募いただいた個人情報は、案内の通知など本事業の目的にのみ使用します。

■申込み及びお問い合わせ先

〒700-8570(住所不要) 岡山県生活環境部文化振興課内 おかやま県民文化祭実行委員会事務局
TEL: 086-233-5712(直通) FAX: 086-233-5720 E-mail bunkasin@pref.okayama.lg.jp

第4回おかやま県民文化祭協賛事業募集要項

1 趣 旨

おかやま県民文化祭の趣旨に賛同した市町村、創作活動を行う個人又は文化団体等が自主的に公演発表を行い、地域における文化活動を促進するとともに、おかやま県民文化祭の振興を図る。

2 主 催

協賛事業の主催者は、市町村、創作活動を行う個人又は文化団体等とする。

3 協賛部門及び条件

- (1) おかやま県民文化祭期間中（9月～11月開催）に開催される事業であること。
 (2) 次の10部門のいずれかに該当する事業であること。

- ①音楽（洋楽等）
- ②舞踊（バレエ、モダンダンス等）
- ③演劇（演劇、人形劇、ミュージカル等）
- ④伝統芸能（邦楽、日本舞踊、民俗芸能等）
- ⑤美術（絵画、彫刻、工芸、書、写真等）
- ⑥映像（映画、アニメーション等）
- ⑦文芸（小説、詩、短歌、俳句、川柳、童話等）
- ⑧生活文化（華道、茶道、将棋、囲碁等）
- ⑨文化講演・シンポジウム
- ⑩総合（市町村文化祭等）

- (3) 文化的公演発表等で、次の条件をすべて満たすものであること。

- ①おかやま県民文化祭にふさわしい意欲的な内容であること。
- ②広く県民を対象としたものであること。
- ③県内で開催されるもので期日、会場等が確定している事業であること。
- ④不当に営利的・宣伝的なものでないこと。
- ⑤政治及び宗教活動を含まないこと。

4 協賛事業である旨の表示

協賛事業については、ポスター、プログラム、看板等に次の字句を記入すること。

第4回 おかやま県民文化祭協賛事業（「第4回」及び「事業」は省略可）

5 県民文化祭賞について

主催者が必要とする場合には、県民文化祭賞（おかやま県民文化祭実行委員会委員長名）を1事業につき1点交付する。なお、賞状は主催者において準備するものとする。

6 報 告

協賛事業終了後1か月以内に資料を添付し、「おかやま県民文化祭協賛事業実績報告書」（別途送付）により報告すること。

7 応募方法

申込書に必要事項を記入し、関連する資料を添付し、おかやま県民文化祭実行委員会あてに提出すること。

- | | |
|--------|------------------|
| 1次締め切り | 平成18年 7月 7日（金）必着 |
| 最終締め切り | 平成18年 8月31日（木）必着 |

※県文化振興課ホームページへ事業の概要を掲載します。

1次締め切りまでにお申し込みいただいた場合は、あわせて「第4回 おかやま県民文化祭」のパンフレットへも掲載いたします。

8 問い合わせ及び送付先

〒700-8570（この郵便番号を使うと住所の記載は不要です。）

岡山県生活環境部文化振興課内 おかやま県民文化祭実行委員会事務局あて

TEL 086-233-5712 FAX 086-233-5720 E-mail bunkasin@pref.okayama.lg.jp

※申込書は県文化振興課のホームページからダウンロードできます。

ホームページアドレス <http://www.pref.okayama.jp/seikatsu/bunkasin/bunkasin.htm>

第4回おかやま県民文化祭事業実績一覧

主催事業

内 容		日 時	場 所	入場者数等
総合フェスティバル		10月20日(金)～22日(日)	倉敷市立美術館 倉敷市芸文館	10,867名
【共催事業】		10月21日(土)～11月12日(日)	倉敷チボリ公園	
'06倉敷フォトミューラル		10月24日(火)～11月 5日(日)	倉敷駅前アーケード	
分 野 別 フ ェ ス テ ィ バ ル	岡山フィルハーモニック管弦楽団 第30回定期演奏会	10月1日(日)	岡山シンフォニーホール	1,670名
	第4回おかやま県民文化祭倉敷公演	11月10日(金)	倉敷市芸文館	505名
	岡山県少年少女合唱連盟演奏会総社大会	9月 3日(日)	総社市民会館	1,038名
	第2回岡山県バレエフェスティバル	9月 3日(日)	岡山市市民会館	1,659名
	日本舞踊チャリティ公演	9月 9日(土)	岡山市立市民文化ホール	747名
	第19回岡山県マーチングコンテスト・第25回岡山県小学校バンドフェスティバル	9月18日(月・祝)	津山総合体育館	2,000名
	第45回中国合唱コンクール	9月23日(土・祝) 9月24日(日)	岡山シンフォニーホール	3,415名
	第5回マーチングバンド・パトントワーリング岡山県大会	9月23日(土・祝)	きびじアリーナ(総社市)	600名
	第2回岡山県俳句大会	10月 9日(月・祝)	岡山国際交流センター	208名
	第51回岡山県吟剣詩舞道大会	10月22日(日)	倉敷市児島文化センター	830名
	第87回岡山県短歌大会	10月29日(日)	久米南町文化センター	125名
	岡山三曲協会定期演奏会	10月29日(日)	岡山市市民会館	670名
	Dance Performance 2006	11月12日(日)	岡山市立市民文化ホール	600名
	近県交流 現代詩講演会No.2	11月18日(土)	ピュアリティまきび	73名
	第13回たいこ・タイコ・太鼓コンサート	11月26日(日)	備前市市民センター	800名
第41回岡山県文学選奨	受賞者 8名	応募数485点	—	
第57回岡山県美術展覧会	出品数	3,556点	14,237名	
『アートの今・岡山2006』展	11月 8日(水)～11月26日(日)	岡山県天神山文化プラザ	1,103名	

協賛事業

分 野	事 業 数	入場者数等
音 楽	65	34,500名
舞 踊	2	1,672名
演 劇	8	2,487名
伝統芸能	12	3,242名
美 術	42	164,433名
映 像	3	539名
文 芸	14	3,513名
生活文化	9	6,770名
文化講演・シンポジウム	3	450名
総合〈市町村文化祭等〉	36	34,703名
計	194	252,309名

(チボリ公園の入場者数を除く)

総入場者数等

区 分	事 業 数	入場者数等
主催・共催事業	20	41,147名
協賛事業	194	252,309名
計	214	293,456名

チボリ公園での協賛事業実施期間中における同園の入場者数	123,965名
-----------------------------	----------

総 合 計	417,421名
-------	----------

第25回国民文化祭・おかやま2010基本構想案の概要

I 基本的な考え方

1 開催の意義

県民自らが岡山の文化の特性と魅力を認識し、誇りを持って国内外に発信するとともに、伝統文化の継承と新たな文化の創造、文化を媒体とした豊かな地域づくりへの決意を共有し、実践していく。また、県境や国境を越えた地域や人々と連携交流しながら、先人から引き継いだものに新しい時代の風を吹き込み、参加者一人一人がいきいきと輝くことのできる未来を展望した国民文化祭とする。

2 基本方針

- ①感動や喜びを分かちあえる祭典
- ②県民の積極的な参画による岡山の文化の再発見
- ③国内外との文化交流による文化芸術活動のレベルアップ
- ④おもてなしの心でのふれあいと交流

3 開催を契機として

- ①岡山の文化をより豊かで多彩なものとする
- ②文化の受発信による相互理解と新たな文化の創造
- ③伝統文化の継承と次世代の文化芸術活動の支援
- ④地域の文化の再発見や掘り起こしによる地域社会の再生

II 名称、テーマ、会期等

1 名称 第25回国民文化祭・おかやま2010

2 テーマ 晴れの国おかやま 文化回廊

「地域と歴史を「めぐる」、人と人とを「つなぐ」、
 未来へと「のびる」文化の回廊をめざす。」

3 主催者 文化庁、岡山県、岡山県教育委員会、開催市町村、文化団体等

4 会期 平成22年(2010年)10月30日(土)～11月7日(日) [9日間]

5 開催地 岡山県内各地

6 シンボルマーク 第1回からの統一シンボルマーク 

7 マスコットキャラクター 岡山県マスコットである「ももっち」の活用

III 事業構想

1 主催事業の基本方針

- ・楽しさや魅力にあふれた工夫
- ・ユニバーサルデザインにより、誰もが気軽に快適に参加できる事業展開
- ・ITを活用した、参加促進と新しい文化への取組
- ・県民参加による新たな企画や試み、岡山文化の再発見
- ・自然や環境、産業、観光等の視点も加えた文化による地域振興
- ・これまでの成果の発揮や異分野、プロとの交流による内容の充実
- ・地域交流や海外文化交流による相互理解と友好の構築

2 主催事業の構想：裏面のとおり

3 協賛事業：国民文化祭の趣旨に賛同し、その目的に沿った文化事業について、文化庁が協賛事業として承認する。

IV 広報計画

国民文化祭の本県開催が県内外に広く周知されるように、様々な機会を通じて効果的かつ個性ある広報活動を展開する。

V 運営計画

運営主体は平成19年度に設置する「第25回国民文化祭岡山県実行委員会」とする。

第25回国民文化祭・おかやま2010基本構想案の概要

主催事業の構想

主催事業の構想については、現時点での市町村や文化団体の意向も踏まえてまとめたものである。この構想を出発点とし、今後個々具体的な検討を加え、事業数の拡大や事業内容の充実を図り、多彩な国民文化祭をめざす。

①総合フェスティバル（3事業）

オープニングパレード
開会式・オープニングフェスティバル
閉会式・グランドフィナーレ

②シンポジウム（4事業）

地域と「文化」 ～地域における文化のあり方を探る～
古代吉備の風景
音楽のあふれる街づくり
洋学と日本近代化

③分野別フェスティバル・継続事業（10事業）

合唱の祭典	全国吟詠剣詩舞道祭
吹奏楽の祭典 (吹奏楽) (マーチング・バトントワリング)	(和太鼓フェスティバル) 民俗芸能の祭典 (神楽フェスティバル) (盆踊りフェスティバル)
オーケストラの祭典	
民謡・民舞の祭典	文芸祭
演劇祭 (現代劇) (ミュージカル) (人形劇)	美術展 生活文化総合フェスティバル

④分野別フェスティバル・独自事業（31事業）

音楽分野	少年少女合唱祭	美術分野 (続き)	漫画フェスティバル
	邦楽の祭典		絵手紙展
	大正琴の祭典		名刀フェスティバル
	ジャズ・フェスティバル		陶芸の祭典
	ミュージック・フェスティバル		茶道フェスティバル
	オペラ		大華道展
	童謡・子守歌フェスティバル		食と酒の祭典
	街中(まちじゅう)音楽祭		ジーンズ・ファッション・フェスティバル
舞踊分野	日本舞踊の祭典	生活文化・ その他分野	クラシックカー・フェスティバル
	洋舞フェスティバル		園芸フェスティバル
伝統芸能分野	地歌舞伎の祭典		かるたフェスティバル
	能・狂言フェスティバル		朝鮮通信使の祭典
文芸分野	児童文学・童話フェスティバル		出雲街道交流フェスティバル
	文学シンポジウム		舞台芸術祭
美術分野	現代美術展		「晴れの国」提案事業
	メディア芸術祭		